

令和 7 年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

病院事務局



目 次

「里山ナース®」院内認定制度による看護師の育成	3
-------------------------------	---

【拡充】 「里山ナース®」 院内認定制度による看護師の育成

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,372	国保事業勘定繰入金 440	広告宣伝費 1,210
	一般財源 2,932	研究雑費 900
(前年度予算 3,702)		その他 1,262

2 事業背景・目的

超高齢化社会の先進地である飛騨市では、医療だけでなく、介護、福祉、保健との連携が重要です。また、退院後も安心して暮らせるよう「地域包括医療・ケア」を推進しており、その実現には、急性期・慢性期・在宅支援に至るまで質の高いサービスを提供できる看護師の育成が必要です。

飛騨市民病院では、地域のニーズに応じた看護師の育成を目指し、「里山ナース®」という愛称を冠した独自の院内認定看護師制度を設け、看護師の資質向上を図っています。また、その充実した研修制度を魅力的なセールスポイントとして、新たな人材の確保を進めています。

病院の看護師は院内での患者対応が主な職務となるため、在宅への介入は退院支援等のごく一部に限られています。そこで、里山ナース®により地域性に特化した医療・ケアのために地域を知ることが前提とし、自ら地域に出向くことを視野に入れ、コミュニティナース(※)として活躍できる人材を育成します。これにより、地域住民の安心感が高まり、健康増進が進むだけでなく、医療機関の負担軽減にもつながり、必要な患者に適切な医療を安定的に提供できる環境整備を図ります。

※コミュニティナースとは、地域の人の暮らしの身近な存在として、心や体の健康と安心を一緒に育むために活動する看護師です。

3 事業概要

里山ナース®院内認定制度における研修コースの活動として、これまでの研鑽を地域住民に還元するため、地域のイベント参加や、健康相談会の開催等を行うことにより、看護師が地域住民と直接触れ合う場を設け、住民の健康増進につながる活動を実践します。

また、引き続き里山ナース®のキャラクターを起用したノベルティグッズを効果的に活用しながら広報・採用活動を行い、病院の認知度向上に努めます。

看護学生の研修の受入れについては、当院が就業先候補に挙がるよう、中部学院大学の看護学生を継続的に受入れ、他校からの要望があった場合にも積極的に受入れを実施し、関係強化に取り組めます。

担当課：病院事務局管理課（☎0578-82-1150） 予算書：P. 49